

○Vector Study反省

・悪かった点

- microtoneが使えなかった。
 - Opusmodusの仕様に問題あり。**XMLパーサーを自前で実装しよう。**
 - *Opusmodusの機能は使えなくなるデメリットあり。*
- 特殊奏法 (breath tone, sul pont., multiphonics)などがコントロールしづらかった。
 - パーサーを自前で実装すればコントロールできる可能性あり。
- デバッグがしづらかった。
 - **デバッガーを作る。**
- Excelを埋める作業が非効率的だった。
 - **ニューラルネットワークを実装し、より抽象的なレイヤーで作曲する。**
- Percussionはコントロール外だった。
 - **音響解析や独自のクラス定義をして楽曲に組み込みたい。** ニューラルネットに組み込む。
- 作曲がやや流れが悪かった。
 - Excelからの書き出し
 - CSVをwatchしてJSを叩く。
 - Excelやマクロは環境依存なので、やめる。
 - Sibeliusの立ち上げ
 - XMLをwatchして叩く。

・良かった点

- 冒頭の弦のharm.は効果的だった。
- レイヤー感、カオスな空間は綺麗に制御出来た。
 - Excelのタイムライン感は有効だった。